

4 SSID の前にチェックマークが表示されていれば接続完了です。



※ SSID の右にある (i) ボタンをタップするとアドレスの取得内容が確認できます。



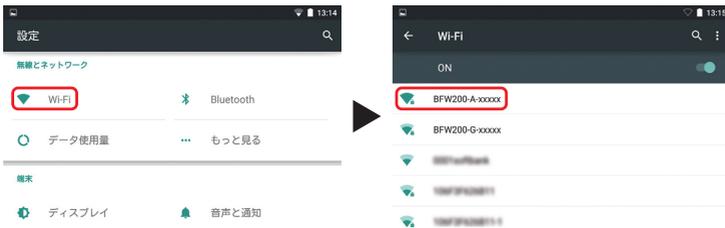
※ 端末の OS バージョンにより画面が多少異なる場合があります。

Android 端末 (バージョン 5.1) の場合

- 1 画面上端から下へスワイプし、表示されたメニューから「設定」アイコンをタップします。



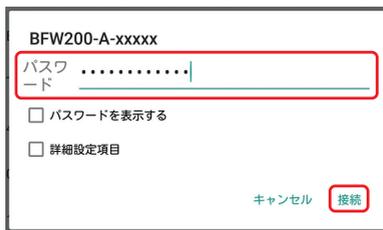
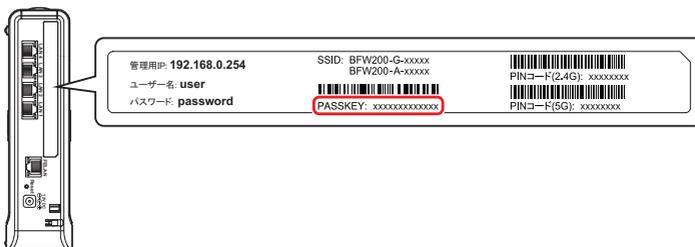
- 2 設定画面で「Wi-Fi」をタップして、表示されたワイヤレスネットワークの一覧から接続するネットワーク SSID をタップします。
本製品のネットワーク SSID は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」をご確認ください。



※「Wi-Fi」が OFF (オフ) の場合は、ON (オン) にしてください。

※お客様でネットワーク SSID を設定された場合は、設定内容をご確認ください。

- 3 パスワードを入力する画面が表示されます。
本製品の背面にあるラベルに記載されている「PASSKEY」を入力して「接続」をタップします。



- ※PASSKEYの入力では大文字・小文字にご注意ください。
- ※お客様でPASSKEYを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 4 Wi-Fi 欄に「接続済み」と表示されていれば接続完了です。



- ※接続済みのネットワーク SSID をタップすると接続状況の詳細が確認できます。
- ※端末の OS バージョン、発売メーカーにより画面が多少異なる場合があります。

■ WEP 認証でネットワーク機器と本製品を無線 LAN で接続する

接続する機器の無線認証が WEP 方式のみ対応している場合 (ニンテンドー DS/DS Lite など)、本製品に別途 WEP の設定が必要になります。以下の手順では、新たに有効にした 2.4GHz 帯のセカンダリ SSID1 に設定する手順を説明しています。

(本製品の工場出荷状態は、WEP 認証が無効になっています。)

- 1 本製品とパソコンを有線 LAN で接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」(本製品の管理用 IP アドレス) と入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 2 BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



- 3 トップ画面が表示されます。



※ 英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

- 4 表示されたページの左側メニューの「無線 LAN 設定 (2.4GHz) / (5GHz)」-「基本設定」を選択します。(画面例は無線 LAN 設定 (2.4GHz) を選択した場合)



- 5 WEP を設定する SSID (セカンダリ 1 ~ 3) の「有効」を選択して、「適用」をクリックします。(画面例はセカンダリ SSID1 の「BFW200-G2-xxxxx」を選択した場合)

無線LAN(2.4GHz) 基本設定
無線LAN (2.4GHz) の基本的な設定を変更します。

ドライバーバージョン	
無線機能有効化	有効
動作モード	11b/g/n 混在モード
SSID (プライマリ)	BFW200-G-xxxxx <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ1)	BFW200-G2-xxxxx <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ2)	BFW200-G3-xxxxx <input type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ3)	BFW200-G4-xxxxx <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
SSID 帯域通信禁止機能	<input checked="" type="radio"/> 通信禁止 <input type="radio"/> 通信許可
BSSID	
無線チャンネル	AutoSelect
802.11n HT物理モード	
フレームフォーマット	<input checked="" type="radio"/> Mixed Mode <input type="radio"/> Green Field
帯域幅	<input type="radio"/> 20 <input checked="" type="radio"/> 20/40
ガードインターバル	<input type="radio"/> Long <input checked="" type="radio"/> Auto

適用 キャンセル

- 6 左側メニューの「無線 LAN 設定 (2.4GHz)/(5GHz)」 - 「セキュリティ設定」を選択します。

無線LAN (2.4GHz) セキュリティ・暗号化設定
SSIDごとにセキュリティ設定、暗号化設定を変更します。

対象ネットワークSSID

ネットワークSSID	BFW200-G-xxxxx
------------	----------------

"BFW200-G-xxxxx"

SSID公開	公開
無線LAN端末間通信禁止機能	通信許可
セキュリティ	WPA/PSK/WPA2/PSK

WPA

WPA/WPA2暗号化方式	<input type="radio"/> TKIP <input checked="" type="radio"/> AES <input type="radio"/> TKIP/AES
パスキー	12345678901234567890
グループキー更新間隔	3600 秒 (0~4194303秒)

MACアドレスリスト

ポリシー	無効
MACアドレス	

適用 キャンセル

- 7 表示された画面の「ネットワーク SSID」でセカンダリ SSID1～3の「BFW200-G2～G4-xxxxx」のいずれかを選択します。(画面例はセカンダリ SSID1 の「BFW200-G2-XXXXX」を選択した場合)

対象ネットワークSSID	
ネットワークSSID	BFW200-G2-xxxxx
"BFW200-G-xxxxx"	BFW200-G4-xxxxx
SSID公開	公開

- 8 「セキュリティ」で「WPAUTO」を選択します。

"BFW200-G2-xxxxx"	WPAUTO
SSID公開	WPA-PSK
無線LAN端末間通信禁止機能	WPA2
セキュリティ	WPA2-PSK
	WPA2-PSK/WPA2PSK
	WPA1/WPA2

- 9 使用するデフォルトキー番号を選択します。

Wire Equivalence Protection (WEP)			
デフォルトキー		WEPキー-1	
WEPキー	WEPキー-1:	WEPキー-3	ASCII
	WEPキー-2:	WEPキー-4	ASCII
	WEPキー-3:		ASCII
	WEPキー-4:		ASCII

- 10 WEP キーの入力形式を選択します。

Wire Equivalence Protection (WEP)			
デフォルトキー		WEPキー-1	
WEPキー	WEPキー-1:		ASCII
	WEPキー-2:		ASCII
	WEPキー-3:		ASCII
	WEPキー-4:		ASCII

- 11 WEP キーの文字列（任意）を入力し、「適用」をクリックします。

Wire Equivalence Protection (WEP)			
デフォルトキー	[WEPキー-1 ▼]		
WEPキー	WEPキー-1:	123456789abcd	[ASCII ▼]
	WEPキー-2:		[ASCII ▼]
	WEPキー-3:		[ASCII ▼]
	WEPキー-4:		[ASCII ▼]
MACアドレスリスト			
ポリシー	[無効 ▼]		
MACアドレス			
		[適用]	[キャンセル]

※手順8で選択した入力形式の文字列（任意）を入力します。

ASCII：半角英数字 5 文字または 13 文字で入力します。

Hex：半角英数字 16 進数 10 文字または 26 文字で入力します。

- 設定が開始され、しばらくして本製品が自動的に再起動を行うと WEP 設定は完了です。Web ブラウザを閉じてください。

- 12 接続する無線機器に「ネットワーク SSID」と「WEP 認証用デフォルトキー」をそれぞれ設定すれば完了です。

※具体的な設定方法や接続確認方法およびトラブルシューティングなどは、接続する無線機器の取扱説明書の内容にしたがってください。

■ その他の機器と本製品を無線 LAN で接続する

本製品の背面にあるラベルに記載されている「SSID」と「PASSKEY」を確認してください。（お客様で設定された場合は、設定後の値が有効になります。）

詳細な接続方法については、接続するネットワーク機器の取扱説明書にしたがってください。



※ PASSKEY の入力では大文字・小文字にご注意ください。

3 詳細な設定

本製品の詳細な設定の確認・変更は、Web ブラウザ（Internet Explorer など）を使って Web 設定画面から行います。

※工場出荷時の初期値でご使用になることができます。その場合は詳細な設定での操作は必要ありません。

■ Web 設定画面で設定する

- 1 本製品とパソコンを接続した状態で、Internet Explorer などの Web ブラウザを起動して、Web ブラウザのアドレスバーに「192.168.0.254」（本製品の管理用 IP アドレス）を入力し、キーボードの ENTER キーまたは Web ブラウザのアクセスボタンをクリックします。



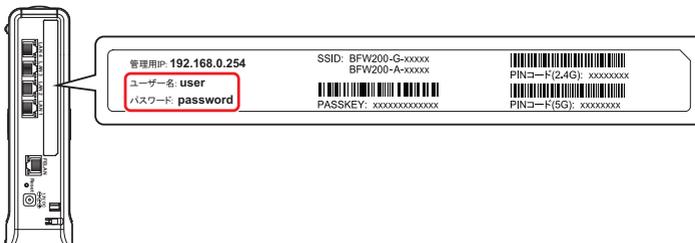
※お客様で管理用 IP アドレスを設定された場合は、設定内容が反映されます。

- 2 BFW200 ログイン画面が表示されます。ユーザー名入力欄に「ユーザー名」を、パスワード入力欄に「パスワード」を入力し、「適用」をクリックします。



※お客様でユーザー名とパスワードを設定された場合は、設定内容が反映されます。

※「ユーザー名」、「パスワード」の工場出荷時の初期値は、本製品の背面にあるラベルに記載されている「ユーザー名」と「パスワード」をご確認ください。



- ③ トップ画面が表示されます。画面左側のメニューをクリックすると、各項目の詳細設定画面が表示されます。

BN-MUX

展開 | 折りたたみ

BFW200
動作モード
言語設定
WAN/LAN設定
WAN
LAN
詳細確認
無線LAN設定 (2.4GHz)
無線LAN設定 (5GHz)
ファイアウォール
管理

LAN設定

LAN側のIPアドレス、DHCPなどの設定を変更します。

LAN				
IPアドレス	192	168	0	254
サブネットマスク	255	255	255	0
MACアドレス	XXXXXXXXXX			
DHCPモード	サーバー			
開始IPアドレス	192	168	0	11
終了IPアドレス	192	168	0	50
サブネットマスク	255	255	255	0
DNSアドレス (プライマリ)	192.168.0.254			
DNSアドレス (セカンダリ)	0.0.0.0			
デフォルトGW	192.168.0.254			
リース時間	06400			

適用 キャンセル

※ 英語表記に切り替えたいときは、表示された左側メニューの「言語設定」を選択し、プルダウンメニューから「English」を選択し、「適用」をクリックします。

メニュー項目	内 容
動作モード	ブリッジ/ルーターの動作モードを切り替えます。
言語設定	Web 設定画面の表記を日本語/英語に切り替えます。
WAN/LAN 設定	WAN 側および LAN 側ネットワークに関する設定を行います。 WAN 設定、LAN 設定、詳細設定など
無線 LAN 設定 (2.4GHz)	2.4GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。 基本設定、詳細設定、セキュリティ設定、WPS 設定など
無線 LAN 設定 (5GHz)	5GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。 基本設定、詳細設定、セキュリティ設定、WPS 設定など
ファイアウォール	ファイアウォール機能に関する設定を行います。 フィルタリング設定、ポートフォワーディング設定、DMZ 設定など
管理	管理に関する設定を行います。 ファームウェア更新、パスワード変更、設定値の保存・復元、初期化、装置情報および設定内容の確認など

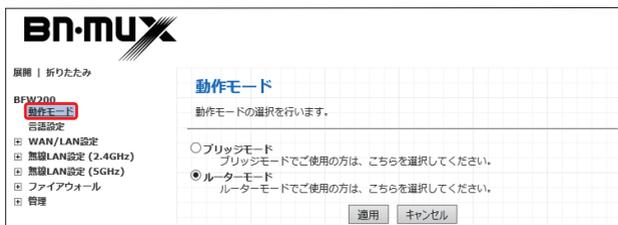
- ④ 変更した設定を保存するには、各項目にある「適用」をクリックします。変更した設定を保存しない場合は「キャンセル」をクリックします。

※「適用」をクリックしないまま、次の設定項目の設定を行った場合は前の設定項目の変更内容は保存されません。

※次ページからの Web 設定画面の説明では「適用」および「キャンセル」の説明は省略させていただきます。

動作モード

本製品のブリッジモード、ルーターモードの2つの動作モードがあります。



本製品に内蔵するルーター機能を有効にする場合にルーターモードでご使用ください。
ブリッジモードを選択すると、装置内部のルーター機能が無効となります。

注意

動作モードを不用意に変更すると通信サービスを正常に受けられなくなることがあります。
動作モードの選択は、ご契約された事業者の指示にしたがってください。特に指定がない場合にはルーターモードでご使用ください。

言語設定

操作画面を英語表記に変更することができます。英語表記に切り替えたいときは、プルダウンメニューから「英語」を選択し、「適用」をクリックします。

英語表記から日本語表記に切り替えたいときは、「Japanese」を選択し、「Apply」をクリックします。



WAN/LAN 設定 – WAN

内蔵するルーターの WAN 側接続モードを切り替えます。



◆ WAN 設定

① WAN 側接続モード

下記のいずれかのモードを連絡します。

- **IPv4/NAPTモード**：IPv4 専用モードです。IPv6 による通信はできません。
- **IPv4/IPv6 Dual IPモード**：IPv4、IPv6 の両方で通信が可能な Dual Stack モードです。

② WAN 側 IPv6 接続タイプ

常に「DHCP」と表示され、変更はできません。

WAN 側 IPv6 アドレスは DHCP で設定されます。

WAN/LAN 設定 - LAN

本製品の LAN 側ネットワークに関する設定を行います。

LAN設定

LAN側のIPアドレス、DHCPなどの設定を変更します。

LAN				
IPアドレス	192	168	0	254
サブネットマスク	255	255	255	0
MACアドレス	XXXXXXXXXX			
DHCPモード	サーバー			
開始IPアドレス	192	168	0	11
終了IPアドレス	192	168	0	50
サブネットマスク	255	255	255	0
DNSアドレス (プライマリ)	192.168.0.254			
DNSアドレス (セカンダリ)	0.0.0.0			
デフォルトGW	192.168.0.254			
リース時間	86400			

適用 キャンセル

◆ LAN 設定

- ① **IP アドレス** (初期値: 192.168.0.254)
本製品の IP アドレスを設定します。
- ② **サブネットマスク** (初期値: 255.255.255.0)
本製品のサブネットマスクを設定します。
- ③ **MAC アドレス**
本製品の MAC アドレスが表示されます。
- ④ **DHCP モード** (初期値: Server) Server / 無効
DHCP サーバを動作させ IP アドレス、サブネットマスクなどの設定に必要な情報を提供します。
- ⑤ **開始 IP アドレス** (初期値: 192.168.0.11)
DHCP サーバが提供する IP アドレスの開始アドレスを設定します。
- ⑥ **終了 IP アドレス** (初期値: 192.168.0.50)
DHCP サーバが提供する IP アドレスの終了アドレスを設定します。
- ⑦ **サブネットマスク** (初期値: 255.255.255.0)
DHCP サーバが提供するサブネットマスクを設定します。
- ⑧ **DNS アドレス (プライマリ)** (初期値: 192.168.0.254)
DHCP サーバが提供する DNS アドレス (プライマリ) を設定します。
- ⑨ **DNS アドレス (セカンダリ)** (初期値: 0.0.0.0)
DHCP サーバが提供する DNS アドレス (セカンダリ) を設定します。
- ⑩ **デフォルト GW** (初期値: 192.168.0.254)
DHCP サーバが提供するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定します。
- ⑪ **リース時間** (初期値: 86400 秒)
DHCP サーバが提供する IP アドレスのリース時間を設定します。

WAN/LAN 設定 - 詳細機能

本製品の LAN 側ネットワークに関する詳細な設定を行います。



① UPnP (初期値：有効)

UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。

無線 LAN 設定 (2.4GHz) – 基本設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する設定を行います。

無線LAN(2.4GHz) 基本設定	
無線LAN (2.4GHz) の基本的な設定を変更します。	
ドライバーバージョン	
無線機能有効化	有効
動作モード	11b/g/n 混在モード
SSID (プライマリ)	BFW200-G-xxxxx <input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ1)	BFW200-G2-xxxxx <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ2)	BFW200-G3-xxxxx <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
SSID (セカンダリ3)	BFW200-G4-xxxxx <input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
SSID関連通信禁止機能	<input checked="" type="radio"/> 通信禁止 <input type="radio"/> 通信許可
BSSID	
無線チャンネル	AutoSelect
802.11n HT物理モード	
フレームフォーマット	<input checked="" type="radio"/> Mixed Mode <input type="radio"/> Green Field
帯域幅	<input type="radio"/> 20 <input checked="" type="radio"/> 20/40
ガードインターバル	<input type="radio"/> Long <input checked="" type="radio"/> Auto

① ドライバーバージョン

無線 LAN のドライバーバージョンを表示します。

② 無線機能有効化 (初期値：有効)

2.4GHz の無線機能の有効／無効を切り替えます。

③ 動作モード (初期値：11b/g/n 混在モード)

本製品の 2.4GHz 帯の無線 LAN 動作モードを設定します。

- ・ 11b/g 混在モード
- ・ 11b モード
- ・ 11g モード
- ・ 11b/g/n 混在モード

④ SSID (プライマリ) (初期値：BFW200-G-XXXXX)

2.4GHz 帯の SSID (プライマリ) を設定します。

※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。

有効 / 無効 (初期値：有効)

⑤ SSID (セカンダリ 1) (初期値：BFW200-G2-XXXXX)

2.4GHz 帯の SSID (セカンダリ 1) を設定します。

※初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。

有効 / 無効 (初期値：無効)

- ⑥ **SSID (セカンダリ 2)** (初期値: BFW200-G3-XXXXX)
2.4GHz 帯の SSID (セカンダリ 2) を設定します。
※ 初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効 (初期値: 無効)
- ⑦ **SSID (セカンダリ 3)** (初期値: BFW200-G4-XXXXX)
2.4GHz 帯の SSID (セカンダリ 3) を設定します。
※ 初期値の「XXXXX」は本製品の WAN 側 MAC アドレスの末尾 5 桁が表示されます。
有効 / 無効 (初期値: 無効)
- ⑧ **SSID 間通信禁止機能** (初期値: 通信禁止)
異なる SSID の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。
- ・ 通信禁止
 - ・ 通信許可
- ⑨ **BSSID**
本製品の BSSID (Basic Service Set Identifier) が表示されます。
- ⑩ **無線チャンネル** (初期値: AutoSelect)
無線 LAN 通信で使用するチャンネルを選択します。
電波干渉がある場合には、使用するチャンネルを変更してください。
複数の無線 LAN アクセスポイントを設置する場合には、チャンネルを変更してください。各無線 LAN アクセスポイントが、異なるチャンネルを使用することによって、電波干渉を軽減できます。
- ・ 「AutoSelect」および「Channel1」～「Channel13」の間で設定できます。
- ⑪ **Rate** (初期値: Auto)
通信レートを設定します。
- ※ 動作モードで「11b/g/n 混在モード」を選択した場合には表示されません。
 - ・ 動作モードで「11b/g 混在モード」または「11g モード」を選択した場合：
「Auto」および「1/2/5.5/6/9/11/12/18/24/36/48/54Mbps」から設定できます。
 - ・ 動作モードで「11b モード」を選択した場合：
「Auto」および「1/2/5.5/11Mbps」から設定できます。
- ◆ **802.11n HT 物理モード**
※ ⑩～⑭までの項目は、動作モードで「11b/g/n 混在モード」を選択した場合には表示されます。
- ⑫ **フレームフォーマット** (初期値: Mixed Mode)
フレームフォーマットを設定します。
- ・ Mixed Mode
 - ・ Green Field
- ⑬ **帯域幅** (初期値: 20/40)
帯域幅を設定します。
- ・ 20
 - ・ 20/40
- ⑭ **ガードインターバル** (初期値: Auto)
ガードインターバルの時間を調整し、マルチパスの発生を少なくして、マルチパスの影響を最小限に抑えます。
- ・ Long
 - ・ Auto

無線 LAN 設定 (2.4GHz) – 詳細設定

2.4GHz 帯の無線 LAN に関する詳細な設定を行います。



① 無線送信パワー (初期値：100)

本製品の送信パワーを調整します。他のネットワークへの電波干渉回避の目的で使用します。また、送信パワーを低下させ通信可能範囲を縮小することにより、外部からの不正アクセス等のセキュリティの脅威を回避できる場合があります。

◆ WMM

② 動作有効 / 無効 (初期値：有効)

WMM(Wi-Fi Multimedia)とは、無線 LAN を通じて音声通話 (VoIP) や音声や動画のストリーミング配信、オンラインゲームなどリアルタイム性が必要な通信を行う際、それらを Web 閲覧など他の通信より優先的に取り扱う機能です。

③ APSD (初期値：無効)

自動省電力機能 (APSD：automatic power save delivery) を有効にします。

WMM が無効の場合は、自動省電力機能を使用することはできません。

④ WMM 詳細設定

「詳細設定」をクリックすると、WMM の詳細パラメータを変更することができます。

無線 LAN 設定 (2.4GHz) - セキュリティ設定

2.4GHz 帯の無線 LAN のセキュリティに関する設定を行います。

- セキュリティで「WPA-PSK」、 「WPA2-PSK」、 「WPAPSKWPA2PSK」 を選択した場合

無線LAN (2.4GHz) セキュリティ・暗号化設定

SSIDごとにセキュリティ設定、暗号化設定を変更します。

対象ネットワークSSID	
ネットワークSSID	BFW200-G-xxxxxx
"BFW200-G-xxxxx"	
SSID公開	公開
無線LAN端末間通信禁止機能	通信許可
セキュリティ	WPAPSKWPA2PSK
WPA	
WPA/WPA2暗号化方式	<input type="radio"/> TKIP <input checked="" type="radio"/> AES <input type="radio"/> TKPAES
パスワード	
グループキー更新間隔	3600 秒 (0~4194303秒)
MACアドレスリスト	
ポリシー	無効
MACアドレス	

適用 キャンセル

◆ 対象ネットワーク SSID

① ネットワーク SSID

セキュリティ設定を行う SSID を選択します。

◆ "BFW200-G-XXXXX"

② SSID 公開 (初期値: 有効)

無線ネットワーク名 (SSID) を公開するか、隠蔽するか設定します。

③ 無線 LAN 端末間通信禁止機能

(初期値: プライマリ SSID は通信許可、セカンダリ SSID1 ~ 3 は通信禁止)
同一 SSID 配下の無線 LAN 端末間の通信を禁止する機能を設定します。

④ セキュリティ (初期値: WPAPSKWPA2PSK)

無線の暗号化を設定します。暗号化を行うと、データを暗号化してから無線電波を発信します。

- Disable
- WPAUTO^{*1}
- WPA-PSK
- WPA2-PSK
- WPAPSKWPA2PSK

*1: 「WPAUTO」を選択した場合、IEEE802.11nの無線 LAN モードは使用できません。

◆ WPA

※セキュリティで「Disable」を選択した場合は⑤～⑦の項目は表示されません。

※セキュリティで「WPAUTO」を選択した場合は「■セキュリティで「WPAUTO」を選択した場合」を参照してください。

⑤ WPA/WPA2 暗号化方式（初期値：AES）

WPA および WPA2 の暗号化方式を設定します。

- TKIP^{*2}
- AES
- TKIPAES

^{*2}: 「TKIP」を選択した場合、IEEE802.11n の無線 LAN モードは使用できません。

⑥ パスキー

パスキー（PASSKEY）を設定します。

⑦ グループキー交換間隔（初期値：3600）

WPA-PSK で使用するキーの更新間隔を設定します。

◆ MAC アドレスリスト

⑧ ポリシー（初期値：無効）

無線 LAN 接続に対する MAC アドレスフィルタを設定することができます。

- 無効： MAC アドレスフィルタ機能を無効にします。
- 許可： 下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を許可します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は拒否されます。）
- 拒否： 下記の「MAC アドレス」欄に入力した MAC アドレスを持つ無線 LAN 端末の接続を拒否します。（それ以外の無線 LAN 端末の接続は許可されます。）

⑨ MAC アドレス

対象となる MAC アドレスを入力します。

（形式 [コロン区切り]：xx:xx:xx:xx:xx:xx）

■ セキュリティで「WPAUTO」を選択した場合

Wire Equivalence Protection (WEP)			
デフォルトキー		WEPキー-1 ▼	
WEPキー	WEPキー-1:	<input type="text"/>	ASCII ▼
	WEPキー-2:	<input type="text"/>	ASCII ▼
	WEPキー-3:	<input type="text"/>	ASCII ▼
	WEPキー-4:	<input type="text"/>	ASCII ▼

◆ Wired Equivalent Privacy (WEP)

⑩ デフォルトキー（初期値：WEP キー 1）

使用するデフォルトキー番号を設定します。

⑪ 入力形式（初期値：ASCII）

デフォルトキーの入力形式を設定します。

- ASCII： 半角英数字 5 文字または 13 文字で入力します。
- Hex： 半角英数字 16 進数 10 文字または 26 文字で入力します。

⑫ WEP キー（WEP キー 1～4）

入力形式で設定した文字列（任意）をそれぞれ入力します。